

ISO TC184国内審議団体事業

事業概要

継続

標準化分野

事業略称	TC184/SC4	期間	2014～	予算元	推進協議会会員会費	事業形態	任意
概要	<p>ISO TC184(オートメーションシステム及びインテグレーション)の国内審議団体の運営を行う。SC4(産業データ)については、2021年4月より、(一社)日本自動車工業会(JAMA)、(一社)電子情報技術産業協会(JEITA)等が参加するものづくり標準データ推進協議会を発足し、ISO TC184/SC4推進協議会に代わり、ISO TC184/SC4国内対策委員会の国際標準化活動を引き続き支援している。ものづくり標準データ推進協議会では定期的に定例技術委員会を開催し、産業データに関する国際標準化適用の観点で活動を実施している。</p>						
ゴール	ISO TC184国内審議団体の運営を実施する。						

2021年度 計画(左)／活動結果(右) [予算：2.4百万円／決算：1.6百万円]

ISO TC184国内対策委員会 (産業オートメーション標準化推進委員会)	産業オートメーション標準化推進委員会を開催し、TC184関連活動状況の共有、投票案件を審議した(5/31,11/2,3/4)。
ISO TC184/SC4国内対策委員会	SC4国内対策委員会を開催(4/23,5/27,10/29,11/26)し、SC4国際会議(5月,11月)の報告・投票案件を審議した。
ISO TC184/SC5国内対策委員会	SC5関連の投票案件審議と投票を実施。 ISO 20140規格開発の実施 (METI事業：環境) ISO 16400規格開発の実施 (METI事業：動的) ISO 16518規格開発の実施 (自主事業。2022年度よりMETI事業の予定)
ものづくり標準データ推進協議会	SC4国内対策委員会の支援と協議会活動の活性化検討。 総会(6/9)、幹事会(4回)、定例技術委員会(5回)を実施

ISO制定ステップ

Step1提案：NP

Step2作成：WD

Step3委員会：CD

Step4提案：DIS

Step5承認：FDIS

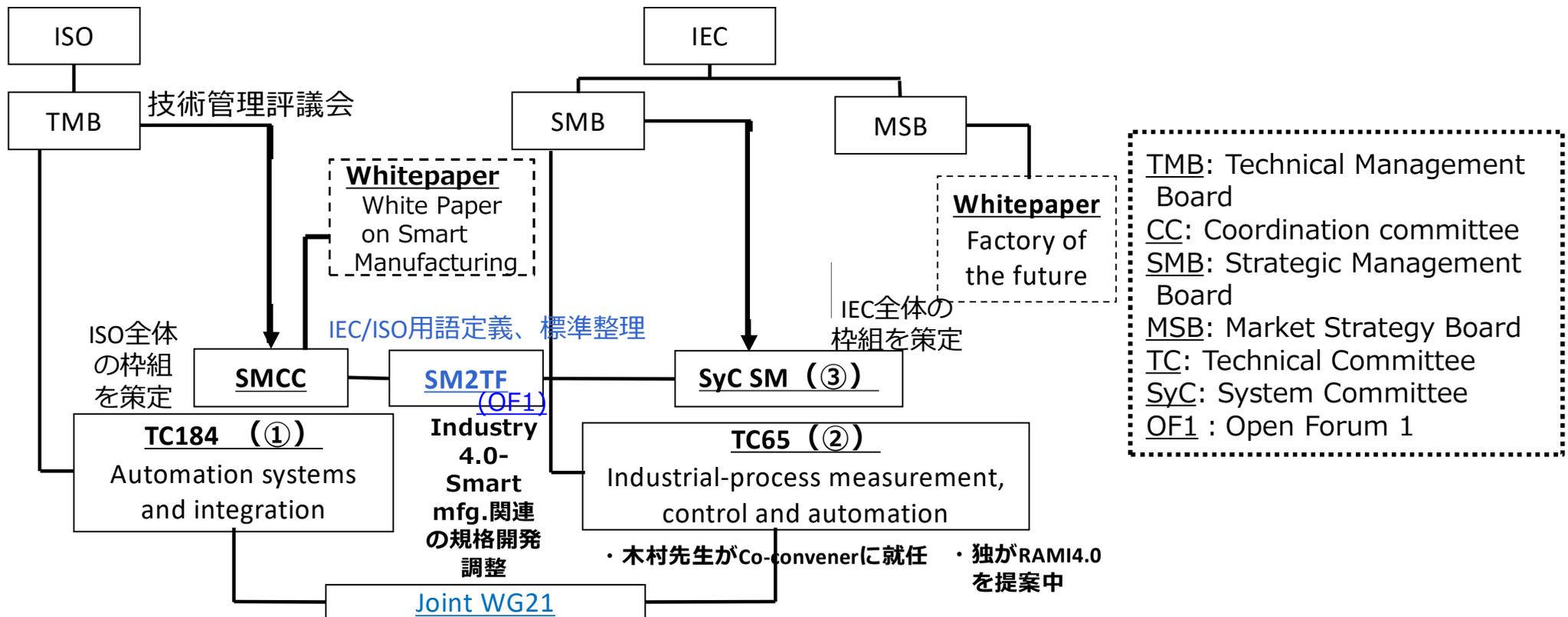
Step6発行：IS

ISO TC184国内審議団体事業

2021年度成果

- ISO TC184関連国際会議に委員を派遣するとともに、国際規格開発に対する国内の対応・意見を纏めるため各種国内対策委員会を開催し、国際会議での議論、国際規格投票へ反映
- Industry4.0 & Smart Manufacturingの国際標準化の議論が進む中、ISO SMCCとIEC SyC SMとのJoint Task Force (OF1 : 旧SM2TF) 、ISO TC184とIEC TC65とのJointWG21 (Smart Manufacturing Reference Model(s)) に、委員を派遣し、直接的かつタイムリーに情報を収集し対応

ISO/IECにおけるインダストリ4.0及びスマートマニュファクチャリング関係の組織



①の国内審議団体はMSTC、②の国内審議団体はJEMIMA、③の国内審議団体はRRI。
 SMCC : Smart Manufacturing Coordinating Committee、SyC SM:Systems Committee Smart Manufacturing
 SM2TF : Smart Manufacturing Standards Mapping Task Force

ISO TC184国内審議団体事業

2021年度成果

- ものづくり標準データ推進協議会における定例技術委員会（2021年度は5回実施）

定例技術委員会（2ヶ月に1回開催） 発表2件。成果は技術レポートとして会員に展開。

第1回（6/30開催）	(1)【JEITA】電機精密製品産業界の3DAモデル/DTPDの動向 (2)【JAMA】自動車工業界におけるCAx データ変換前後の同一性検証 実務適用に向けた活動紹介
第2回（8/25開催）	(1)【JAMA】JAMA DE分科会の新テーマ「デジタルエンジニアリング データ 流通改革」検討状況の共有とディスカッション (2)【エリジオン】3DA model流通の最新状況と課題 1 - データ変換 -
第3回（10/27開催）	(1)【関東学院大学】JIS/DTPD規格（JISB 0060シリーズ）の内容 および今後の予定 (2)【ラティス・テクノロジー】ものづくり現場における xR 活用の今とこれから - 前編 -
第4回（12/22開催）	(1)【ラティス・テクノロジー】ものづくり現場における xR 活用の今とこれから - 後編 - (2)【JEITA】データムと幾何公差設定による設計効率化
第5回（2/16開催）	(1)【エリジオン】3DA model流通の最新状況と課題 2 - データ品質 - (2)【シーメンス】JT OPENメンバー各社の活動状況およびDIN(独)の動き について（STEP AP242 XML + JTの運用と今後の課題）